

こんにちは 野々市市議会です

第一次総合計画の仕上げに関わる

令和2年度予算に関する各委員会での主なQ&A …… 2P

議決結果一覧 …… 3P

3月定例会一般質問に7人が登壇 …… 4P

総務産業常任委員会視察報告

及び人事案件・意見書等 …… 11P

市長に「新型コロナ対策の要望書」を提出

6月定例会日程が決まりました …… 12P

*中林2丁目 小島茂治さんが、トラクターにて田圃の畔塗作業中。

写真撮影：編集委員会メンバー（掲載に当たってはご本人の了解を得ています）

私は賛成・反対しました

議決結果一覧

令和2年3月定例会 ○=賛成、×=反対 ※議長(中村 義彦)は採決に加わりません。

議案名	議決日	議決結果	梅野智恵子	朝倉雅三	小堀孝史	向田誠市	北村大助	馬場弘勝	安原透	西本政之	中村義彦	杉林敏	辻信行	早川彰一	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第1号 令和元年度野々市市一般会計補正予算(第4号)について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 令和元年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第3号 令和元年度野々市市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 令和2年度野々市市一般会計予算について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第5号 令和2年度野々市市国民健康保険特別会計予算について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第6号 令和2年度野々市市後期高齢者医療特別会計予算について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第7号 令和2年度野々市市介護保険特別会計予算について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第8号 令和2年度野々市市水道事業会計予算について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 令和2年度野々市市公共下水道事業会計予算について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 野々市市印鑑条例及び野々市市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 野々市市監査委員条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号 野々市市基金条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 野々市市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号 野々市市手数料条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号 野々市市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 野々市市子育て支援センター条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号 野々市市子育て支援医療費助成に関する条例及び野々市市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号 野々市市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号 野々市市営住宅条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号 野々市市地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号 野々市市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号 野々市市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号 市道路線の廃止について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号 市道路線の認定について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号 公の施設に係る指定管理者の指定について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号 公の施設に係る指定管理者の指定について	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号 野々市市副市長の選任につき同意を求めることについて	3月3日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号 野々市市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	3月3日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号 野々市市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	3月3日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第1号 新型コロナウイルス感染症対策の強化と、新たな感染症への危機対応の強化を求める意見書	3月26日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号 石川県における精神障害者の医療費助成について	3月26日	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号 選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める国への意見書採択についての請願	3月26日	不採択	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	

令和2年度 一般会計予算

3月
定例会

「野々市市第一次総合計画」

仕上げ時期に向け

一般会計予算などの総額

299億700万円を可決する



令和2年第1回定例会は、3月3日から3月26日までの24日間の日程で開会し、粟 貴章市長から提出された令和2年度一般会計予算を含む議案31件のほか、議会議案1件と請願2件の内1件を全員一致もしくは賛成多数で可決、採択し、人事案件3件を全員一致で同意としました。当初予算編成は、「野々市市第一次総合計画」に掲げる「公共の経営」「市民協働のまちづくり」「野々市ブランドの確立」等の具体的な施策を着実に実現できるよう予算に反映させています。
なお、議会最終日には、副議長の辞任により議会組織の変更も行われました。

各委員会の主な質問と答弁

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

3月12・16・17・18・24日の5日間

Q 御経塚保育園遊具設置工事において、昨年の9月議会における一般質問では「保育園から遊具の設置要望は聞いておらず、新たなものをすぐという考えはないが、必要性や安全性を十分考慮し、現場の保育士とともに遊具の設置を検討していく」との答弁であったが、令和2年度の当初予算での遊具設置工事の計上は、一般質問の答弁と整合性が図れないのではないかと。

A 当初予算編成時期に、各園に対し要望の聞き取りを行ったところ、御経塚保育園から遊具設置の要望があり検討した結果、遊具の使用により、子ども達の社会性、成長に必要な運動能力などの発達に対する効果が期待できることから、予算計上したものである。

Q 市営住宅の維持・管理において、中林住宅とつばきの郷住宅の入居率について伺う。

A いずれの住宅も現在満室である。

Q 学童保育や民間保育園の建設に加え、学びの杜ののいちカレード、にぎわいの里ののいちカミノの建設費における元金の償還が始まるが、今後、収支の均衡をどう図るのか。

A 学童保育や保育園の建設については、国の景気対策による補助金などを活用する。また、起債については、返還のピークの時期を把握していることから、計画的に公共施設整備を行うなど、財政調整基金が10億円を下回らないように工夫をしながら財政運営を行っていく。



辻 信行 議員

主要幹線道路の道路照明灯のLED化は計画的に、行なっているのか

道路照明施設の定期点検と併せて、水銀灯508基は、順次速やかにLED化を進めてまいりたい。

Q 平成29年では4500基のうち、1800基がLEDになっている状況ですが、令和元年度ではどれくらいになっているのか。

A 企画振興部長 ● 令和元年度につきましては、防犯灯が4712基、うちLED灯は2554基という状況です。引き続き、公衆街

町内会が管理する防犯灯のLED化について

Q 一般照明用の高圧水銀ランプは、水銀含有量にかかわらず、2020年12月31日以降製造輸出入が原則禁止となり、メタルハイドランプ、高圧低圧ナトリウムランプ、LED照明等に切り替えていかねばならない。

A 土木部長 ● 平成27年度から順次、健全度の低い照明灯より、優先順位を定め、現段階で、163基について、LED化と併せ、修繕や更新を進めてきました。現在、市が管理する938基の道路照明等の内訳は、水銀灯が508基、LEDが287基、ナトリウム灯が29基、蛍光灯が114基という状況です。水銀灯の508基については、速やかにLED化を進めてまいりたい。

Q 町内会が管理する防犯灯のLED化について

A 土木部長 ● 平成27年度から順次、健全度の低い照明灯より、優先順位を定め、現段階で、163基について、LED化と併せ、修繕や更新を進めてきました。現在、市が管理する938基の道路照明等の内訳は、水銀灯が508基、LEDが287基、ナトリウム灯が29基、蛍光灯が114基という状況です。水銀灯の508基については、速やかにLED化を進めてまいりたい。

Q 本市の観光について

A 6年前から始まった加賀地域連携推進会議（オール加賀会議）2019年版発行の「加賀の国 サブタイトル加賀の国の5つの宝」には、喜多家住宅、旧魚住家住宅、六日町かふえ、の前の記事に加えて、野々市中央公園「椿山」、御経塚遺跡、野々市キウイフルーツビネガー、野々市じょんからまつりが記載されていました。加賀の国における本市のイメージは、決して大きいものではありません。だからこそ、ユニークなPRが肝心です。第17回HABふるさとCM大賞のよう活動の映像は、野々市らしさの象徴でした。市内観光スポットを「絵日記」風に紹介するパンフレット「のさんぽ」を大いにPRすべきではないか。

A 市長 ● 「のさんぽ」は市公式キャラクター「のっぺい」が市内を散策する様子を季節ごとに絵日記風にまとめたところ、イラストが可愛いと好評をいただいております。

Q 野々市ブランドについて

A 市長 ● 野々市ブランド認定制度は、本市の特色ある製品のうち、特に優れたものを地域ブランドとして認定し、その魅力を市内外に発信することで、認定品の販売促進、市の知名度とイメージ向上、そして、地域産業の活性化を目的とした制度です。全国のブランド認定制度を見てみますと、議員からお話のありました「江東ブランド」のように、企業が持つ技術に特化したものなど、それぞれの自治体の特色を打ち出した認定制度が見受けられます。本市におきましても、認定委員会の皆さんにもご意見をいただき、来年度以降、野々市の特色を打ち出した制度となるよう、改善、拡充の検討をしたいと考えております。



大東 和美 議員

ふるさと納税の返礼品に「のっぺいの水」を検討してみませんか

大変好評な商品でありますので、返礼品の一つに加えたいと思います



Q 本市の水源地量は日量どのくらいか。「のっぺいの水」は年間どのくらいの生産か。今後、どのくらい商品化ができるか伺う。

A 土木部長 ● 本市の一日当たりの最大取水量は約3万トン。日当たりの使用生活水量は1万6千トン。日当たり約1万4千トンの余裕。「のっぺいの水」は1年に1回、専門の工場へ委託、1回の使用水量は10トン。500ミリリットル入りペットボトル24本入りで780ケース、1万8720本を生産。増産につきましては、工場の生産許容量の関係から年間に3回程の対応は可能。最大で約2千3百ケース、5万5千本が出荷できる。使用水量は30トン程度、市民生活には全く影響はありません。

Q 子育て支援の拡充及び多胎児家庭への特別支援策を提案

A 子育て支援の拡充及び多胎児家庭への特別支援策を提案

Q 石川県内で臍帯血を安心して提供できる場所に本市から県庁意による寄付について伺う。

A 健康福祉部長 ● 妊婦と胎児をつなぐ臍帯及び胎盤には、造血幹細胞の多い臍帯血が含まれることから、移植することで白血病や再生不良貧血など血液疾患の有効な治療法とされています。一方で、臍帯血の採取と処理には無菌状態での管理が必要となることや、愛知県の「中部さい帯血バンク」まで輸送しなければならぬ。国が定める高度な技術と設備を有する産科施設に限定して実施されています。

骨髓移植に比べ歴史が浅く、まだ、研究の余地がある事業との国の見解が示されています。安全な臍帯血移植の実施に向けた、国の取り組み状況を注視してまいりたいと考えています。

Q 睡眠不足、体調不良の時の支援について

A 市長 ● 「ファミリー・サポート・センター」での外出支援のほか、子育て支援センター菅原において週1回「双子ちゃんデー」を開催し、多胎児を持つ母親同士が交流する機会を設けています。そこでは、多胎児家庭ならではの悩みの相談や情報を共有出来る等、参加者からは大変好評をいただいております。また、県がNPO法人「いしかわ多胎ネット」に委託して実施している「多胎プレマパパ教室」や「多胎児家庭の交流イベント」なども利用いただいている。一方、国では、多胎児の育児経験者家族との交流会などを行う「多胎ピアサポート事業」や外出の補助や日常の育児に関する補助を行う「多胎妊産婦サポーター等事業」など、孤立しやすく負担の大きい多胎児家庭を支援するための事業を新たに創設すると聞いています。

Q 野々市ブランドについて

A 市長 ● 野々市ブランド認定制度は、本市の特色ある製品のうち、特に優れたものを地域ブランドとして認定し、その魅力を市内外に発信することで、認定品の販売促進、市の知名度とイメージ向上、そして、地域産業の活性化を目的とした制度です。全国のブランド認定制度を見てみますと、議員からお話のありました「江東ブランド」のように、企業が持つ技術に特化したものなど、それぞれの自治体の特色を打ち出した認定制度が見受けられます。本市におきましても、認定委員会の皆さんにもご意見をいただき、来年度以降、野々市の特色を打ち出した制度となるよう、改善、拡充の検討をしたいと考えております。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけません。
PCからは、 <https://youtu.be/IocHUWaFaFw>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけません。
PCからは、 <https://youtu.be/sVPJASkYnE>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員

新型コロナウイルスによる一斉休校で子どもたちのストレス蓄積が心配

児童生徒のことを考えるとあまりにも影響が大きい



がかかる懸念がある。子供たちは体を動かす機会がどうしても減るので、議員ご指摘の通り、

Q 一斉休校の再検討と子供の居場所づくりが必要では

A 新型コロナウイルス感染拡大による一斉休校で子供たちは外出もできず、友達とも遊べない。一か月間このようなことを子供に求めれば、表面的には大人に見えないストレスを抱えることになるなどから、一斉休校が良かったのか再検討することがあってもよいのではないかと。子供の居場所づくりと保護者の負担を少なくするために分散登校にすることで感染リスクを下げることもできるのではないかと。このままでは新学期からの対応の選択肢が狭くなる心配がある。

Q 教育長●長い期間、外出を控えることを考えると、あまりにも影響が大きい。休業によりできなかった授業内容を来年度に入ってから教えることになれば大きな労力と授業時間を増やす必要も生じ、夏季休業の短縮などで教職員の多忙化に拍車

がかかる懸念がある。子供たちは体を動かす機会がどうしても減るので、議員ご指摘の通り、

Q 公立学校教員への1年単位の变形労働時間の導入には過半数の労働者の合意が必要

A 県教委が各市町の意向を踏まえて条例を作るか決めることになるが、各学校で校長が教員の意見を聞き、各学校が市の教育委員会と相談をするというプロセスがあり、過半数の労働者の合意がなければ導入はできない。教育委員会は教員の意見を聞いて、県教委に対しても言うべきことはしっかり意見を上げていく、そういう

Q 新型コロナウイルス感染拡大への緊急経営安定支援特別資金融資制度は、利用してこそ制度の意味があり、利用しない制度をつくっても意味がない。金利をゼロにするよう求める。

A 市長●貸付金利の補助については実施する予定はない。

Q 新型ウイルス感染拡大への緊急経営安定支援特別資金融資制度は、利用してこそ制度の意味があり、利用しない制度をつくっても意味がない。金利をゼロにするよう求める。

A 市長●貸付金利の補助については実施する予定はない。

Q 新型ウイルス感染拡大への緊急経営安定支援特別資金融資制度は、利用してこそ制度の意味があり、利用しない制度をつくっても意味がない。金利をゼロにするよう求める。

A 市長●貸付金利の補助については実施する予定はない。

う姿勢で臨んでいただきたい。

Q 市民の暮らしと日本経済を危うくしている消費税増税は間違いだっただけでは

A 教育長●文部科学省は变形労働時間制導入の具体的な条件などを省令で定めることとしているが、現時点ではまだ交付されていない。県の条例制定についてはまだ聞いていないので、現段階でそのプロセスについてお答えできない。

Q 市民の暮らしと日本経済を危うくしている消費税増税は間違いだっただけでは

A 市長●駆け込み需要の反動や、大型台風で個人消費が落ち込んだほか、世界的な景気の減速が設備投資の下押し要因となったことなどが指摘されている。増税は、増え続ける社会保障財源の確保のため実施されたものと認識している。

Q 倉庫売却金を体育施設等の整備に充当するため基金として積み立ててはどうか、市長の所見を伺います。

A 総務部長●今後、施設整備の計画や方針が具体化した際、ご提案のありました、売却した資金を基金に積み立てていくことも考えてまいります。

Q 倉庫売却金を体育施設等の整備に充当するため基金として積み立ててはどうか、市長の所見を伺います。

A 総務部長●今後、施設整備の計画や方針が具体化した際、ご提案のありました、売却した資金を基金に積み立てていくことも考えてまいります。



朝倉 雅三 議員

野々市市小中学校周辺交差点に歩車分離信号を導入しては

学校などの要望をお聞きし、協議してまいります

Q 令和2年2月現在、県内における死亡事故が9件発生しております。朝登校時には学校周辺に児童・生徒が集中いたします。周辺の2市においては、白山市松任小中学校、金沢市額小中学校周辺交差点には車分離信号が導入されておりません。本市の小中学校周辺交差点に児童・生徒の安全確保のために歩車分離信号を導入すべきと考えますが市長の見解を伺います。

A 市長●歩車分離信号は、車両の通過と歩行者の横断が交わらないように、青信号のタイミングを分離している信号であります。本市では、金沢工業大学周辺に平成26年2月に設置しております。この信号の設置により事故の抑制につながっていると伺っており、小中学校周辺の交差点においても歩車分離信号の設置は、児童や生徒の安全を確保する観点から有効な対策の一つであると考えております。こうした信号機設置につきましては、県公安委員会の所管でありまして、地域の町内会や学校などの要望をお聞きし、関係機関と協議してまいります。



押野倉庫

Q 昨年9月議会において公会計について質問し、教職員の負担軽減が図られるよう導入時期、徴収方法について先行事例なども収集しながら、本市にとって最も望ましい公会計のあり方を研究してまいりたいとの回答を得ました。半年が経過し公会計の導入時期、徴収方法の概略は決まりましたか。決まっていれば、導入時期を含め伺いたい。

A 教育長●導入にあたり、現在学校で実施している徴収に関する業務は教育委員会で集約することになります。そのため、昨年10月には小中学校に対して、学校給食費にかかる事務内容や徴収状況について調査を実施いたしました。今後、国のガイドラインを参考に、業務シ

Q 野々市市公共施設等総合管理計画第4章4-3施設類型ごとの管理に関する基本的な方針⑩その他において、三日月倉庫・押野倉庫は廃止を検討します、と明記されております。2物件を民間へ売却してはいいかがか、市長に伺います。

A 総務部長●老朽化している三日月倉庫と押野倉庫については、廃止を検討することいたしました。両倉庫の収容品の圧縮整理を図り、できるだけ早期に廃止し、ご提案の民間への売却について検討します。

Q 野々市市公共施設等総合管理計画第4章4-3施設類型ごとの管理に関する基本的な方針⑩その他において、三日月倉庫・押野倉庫は廃止を検討します、と明記されております。2物件を民間へ売却してはいいかがか、市長に伺います。

A 総務部長●老朽化している三日月倉庫と押野倉庫については、廃止を検討することいたしました。両倉庫の収容品の圧縮整理を図り、できるだけ早期に廃止し、ご提案の民間への売却について検討します。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/epYnjCZBTUE>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/ICdHmgunZrQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



早川 彰一 議員

今後 10 年間で使用できなくなる水銀使用照明器具の公共施設での更新作業を急げ

費用対効果なども考え、様々な手法を検討し順次整備を進める

公共施設長寿命化計画について

Q サステイナブルな社会を目指す市長は令和2年度当初予算案において公共施設等の長寿命化、集約化・複合化を順次進めていく必要がある、とされている。具体的には公民館や体育施設、小中学校において今後10年を超えて存続させていく施設はどの程度有るのか、市長に伺う。

A 市長 ● 厳しい財政状況の中で、今後公共施設をいかに効率的に維持していくかについて、現在個別施設計画を策定している。その状況を踏まえて施設の集約化、複合化について検討していく。

のいち創世長期ビジョンの推計では2055年度頃まで人口が増加していくと見込まれることから、今後施設利用の需要が高まるものと考えられる。現有の施設自体も適切な改修を行うことにより、今後10年間は十分使用可能である。10年を超えて存続させていく施設は個別施設計画の状況を見ながら検討し、利用状況や運営状況で非効率が生じた場合には、その都度見直しを行うなど適切な施設の管理運営を心がける。

公共施設LED照明化について

Q 延命を図る施設では10年間で水銀を用いた照明器具の一部が供給、使用できなくなる。代替照明についてどのように対処するか、市の考えを伺う。

A 市長 ● 水銀に関する水保条約及び水銀による環境の汚染の防止に関する法律により、一般照明用の高圧水銀ランプは2020年末で製造、輸出入が禁止される。国のエネルギー計画、地球温暖化対策計画においても2030年までにLED等高効率照明のストック、設置を100%目指すとしている。市としても順次、計画的に照明器具の整備を進めていきたい。

多額の整備費用に対する資金計画について

Q 水銀を用いた照明器具が本年末に生産中止、輸入も禁止となることから、4～5年先には全国的に需給が逼迫することが予想される。期間が限られた中で、その事務作業や予算に相当な困難が待ち受けている。実際にかかる経費などを算出したときに、予算の平準化を図るため、グリーンボンド、PPP、PFI等民間との連携による資金調達や手法についての研究をしてはどうか。野々市市は民間活用では他に先駆けて、PFI事業等ノウハウも蓄積されている市の方針を伺う。



水銀灯



蛍光灯

A 市長 ● 現在、水銀灯や蛍光灯を使用している施設は多く、学校や野球場など施設規模の大きいものもあることから、照明器具の更新については多額の費用が必要となる。そのため今後の整備については施設状況や今後の改修予定、費用対効果、活用できる補助金などを整理した上で、財政負担の平準化が重要であると考える。民間の資金や技術的能力を活用しての整備、例えばPPP（公民連携）の手法もいくつかの施設で活用していることから有効であると思う。様々な整備手法が考えられる中で従来型の手法も含め、他の自治体の事例等も参考にしながら今後研究して対応していく。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけません。PCからは、<https://youtu.be/4dRgtmi-Z1Y>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西本 政之 議員

手話言語・障害者コミュニケーション条例の今後の展望は

一人一人が互いの尊厳を大切にしよう共生のまちづくりに努める

Q 手話言語・障害者コミュニケーション条例を制定して約1年が経過した。この間、順調に協議会が立ち上がり、会議も行われ、来年度の重点政策にも手話言語・障害者コミュニケーション条例関係事業が新規事業に挙げられた。広く地域住民に対し、聴覚や視覚など様々な障害のある方への理解とコミュニケーションの推進を図るものとする。初回の市長の提案理由の説明に、講座の開設とパンフレットの作成という具体的な話があった。まずは啓発活動からというところで、事業の内容にも納得はしているが、啓発活動の先にごような要望をお持ちか伺う。

A 市長 ● 昨年度、議員各位のご尽力をいただき、野々市市手話言語・障害者コミュニケーション条例を制定し、11月には手話等コミュニケーション手段の普及と利用促進の施策を検討するため、視覚や聴覚に障害のある方など12名の委員で構成する野々市市手話言語等コミュニケーション推進協議会を開催した。協議会からのご意見を踏まえ、まずは何よりも相互理解に向けた啓発活動が大切であるとの思いから、昨年12月に市の公式YouTubeチャンネルを活用し、日常の挨拶などを1分程度の

手話として紹介する動画の配信を開始した。また、障害のある方への理解を深めるため、今年度初めて野々市小学校の児童を対象に講演会を開催した。来年度には、啓発用のパンフレットを作成し、関係窓口や各種講座で配布することを予定している。今後様々な機会を捉え、相互理解が更に深まるような取組みを進め、一人一人が互いの尊厳を大切にしよう共生のまちづくりに努めていきたい。

市内小中学校の一斉休校について

Q 共働き世帯やひとり親家庭で、学校が子どもを預かってくれないと働きに行けない方が、今回の一斉休校で困っている。そんな子ども達の居場所づくりについて、小学校の空き教室の活用や、誰が子供達を見るのか、衛生対策はどうするか等、行政としてどのように考えておられるか伺う。

A 市長 ● 福祉サービスなどを受けられない障害のある児童生徒や、保護者が仕事を休めない場合の児童を対象に、個別に保護者の相談に乗った上で、学校が預かっている。教育長 ● 学校で預かっている子供達は、支援員の方々に見ていただいで

いる。また、児童同士の距離の確保、換気、消毒液の確保などの衛生管理に取り組んでいる。

RPA導入について

Q 人手不足や働き方改革を背景に、県内自治体で事務作業を自動化するRPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）導入の動きが広がっている。本市は導入するのか、するとすればどの分野に導入するのか伺う。

A 企画振興部長 ● 福祉や税、電子入札業務での導入を想定している。国民健康保険業務、職員の時間外勤務管理業務、電子入札業務の3業務についてRPAの試験導入を実施し、一定の効果がみられた。今後、本格導入に向けて調査研究を行っていく。

婚活支援について

Q 新規事業の婚活イベント開催、常設スペースの開設について、具体を伺う。

A 市長 ● 参加者が複数回継続して参加するイベントを考えている。既存のカフェなどに専用スペースを設置し、イベントの集客効果を高めたいと思っている。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけません。PCからは、<https://youtu.be/hdIK2lpNdDs>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



北村 大助 議員

「中林地区」市営墓地公園整備計画の土地取得を議会にいつ提示するのか

用地の取得については、令和2年度中の取得を目指してまいりたい

市営墓地公園整備計画について

Q 令和3年度末までに約1000区画の供用開始までのタイムスケジュールを示していただきたい。

A 市長 ● 今後、実施計画を5月末ごろまでに策定する中で、実施設計にかかる経費を算定し、6月議会に上程したい。用地取得については、令和2年度中の取得を目指したい。進捗状況は随時、議会に報告させていただきます。

Q 次期子ども・子育て支援事業計画について

Q 計画策定にあたり、アンケート調査から何が見えてきたのか。

A 健康福祉部長 ● 児童虐待防止の参考とするために、市独自の設問として子どもや子育てに対する感情や虐待に関するものを追加しております。「つい感情的に子どもを叩いた」という項目では「どちらか」という当てはまる」と回答したものが26・9%という結果となった。このことから子どもや子育てを前向きに捉えている一方、ストレスにも感じていると推測できることから、孤独を防ぐ事業等が求められてきていると考えられます。

総務産業常任委員会では、委員全員参加による行政視察を行いました。

- 人事**
- 副市長・固定資産評価員 山口 良 (押越2丁目)
 - 固定資産評価審査委員会 委員 廣見 信夫 (押野1丁目)

可決された請願

石川県における精神障害者の医療費助成について

採択された意見書

「新型コロナウイルス感染症対策の強化と、新たな感染症への危機対応の強化を求める意見書」

要旨

新型コロナウイルス感染症対策の強化とともに、今後想定される新たな感染症への危機対応を強化するために、医療機関における円滑な医療実施のための支援や、感染拡大及び風評被害による観光関連産業等を含めた地域経済に対し、必要な対策を講ずるなど、11項目の対策を国に求める。

総務産業常任委員会 行政視察報告 1月20日(月)～22日(水)

総務産業常任委員会では、委員全員参加による行政視察を行いました。

東京都 小平霊園 公園墓地の樹林樹木墓地整備について

小平霊園は、東村山市・小平市・東久留米市の3市にまたがる65万3千㎡の広大な公園敷地の中に、一般墓地・近代墓地・壁型墓地及び樹林・樹木墓地が設置され、お彼岸や休日等に散歩を楽しむ人や子供達が多く見受けられ、地域に溶け込んだ霊園で、樹林・樹木墓地は、静かで穏やかな雰囲気の大変落ち着いた環境の場所に設置されています。

2021年末までに本市の市営墓地整備計画に対する市民意識調査アンケートでは、合葬墓に対するニーズの高い調査結果が出た中、時代のニーズの変動と墓地形態の多様化の視点から、小平霊園でさまざまな施設を確保出来た事は大変有意義であり、所管委員会として今後、実施計画の議論をより深く行い、「市民に親しまれる墓地公園整



東京都江東区 江東ブランドの取り組みについて

江東区の地域イメージ向上を計る取り組みとして、平成26年に江東ブランド推進事業を立ち上げ「継承と革新」をキーワードに事業展開を進め、多種多様な業種が揃っている特徴に立地条件の良さを掛け合わせ、「アクセスが良く、何でも揃う」という地域性に着目したブランドディング展開を行っているところと特色があり、本市野々市市においてもある意味似た環境であると感ずると同時に、野々市市に

備」を行っていかねればと心に重く受け止めました。

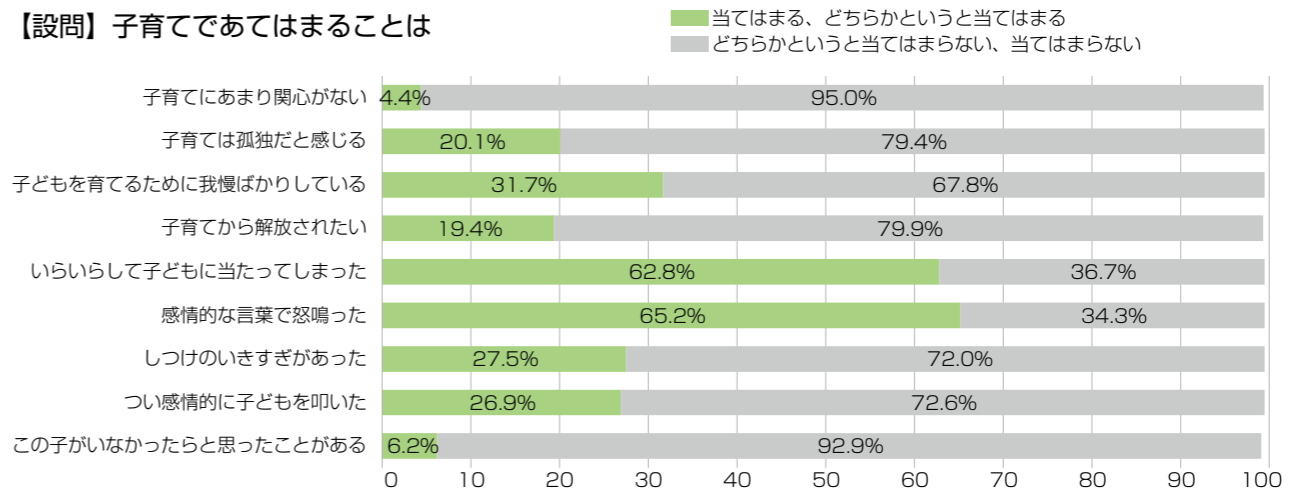
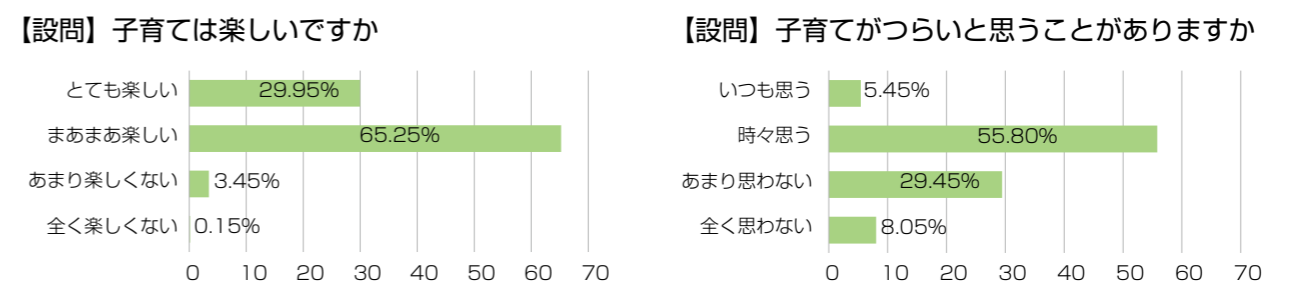
おいても、「野々市ブランド認定制度」にさらなる磨きをかけ、ブランド性を高めていく努力が必要と思われました。

資源エネルギー庁 新エネルギー政策 (水素社会実現に向けた取り組みについて)

神奈川県横浜市 新横浜公園遊水地等を活かした防災事業について

新エネルギー政策に付きましては、本市当委員会と致しまして、本政策が身近な消費社会にどのように入っていくのか、今後も当政策の動向に関心を寄せていきたいと思っております。新横浜公園遊水地等を活かした防災事業につきましては、本市では今後もさらに市街化が進む計画のうえで、調水池機能を持たせた公園整備及び、今後、体育施設整備基本計画のもと、市内の体育施設の集約化・統合などで新たな新施設を検討していく段階では、貯水・排水機能を持たせた洪水対策の観点も検証しなければいけないと学ばせて頂きました。

次期子ども・子育て支援事業計画案 策定アンケート調査より(一部抜粋) 回答数: 1,925 未就学児童・小学生保護者対象



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 https://youtu.be/_idc9RM9cIE
一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止 対策等に関する要望書を市長に提出

令和2年4月7日、市議会として、栗市長に対して要望書を提出しました。

要望書の主な内容

- 積極的な情報の提供
- 個人事業主・中小企業への支援
- 公共工事の早期発注
- 園児や児童・生徒の安全確保、経済的困窮者への支援
- 休校する小中学校の児童・生徒への対応と学習支援
- 新型コロナウイルス感染症対策を実施するために必要な予算措置を講ずること

※市民の皆様におかれましては、不要不急の外出を控えるなど、人の接触をできるだけ避け、手洗いや咳エチケットを行うなど、感染拡大防止にご協力賜りますようお願いいたします。



議会組織変更のお知らせ

- ◆副議長 馬場 弘勝
- ◆議会運営委員会 委員 安原 透
- ◆教育福祉常任委員会 委員長 安原 透

6月定例会の予定

会期：6月4日(木)～22日(月) (19日間)



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 午前10時～ 本会議 開会	5	6
7	8	9	10	11 午前10時～ 本会議 一般質問	12 午前10時～ 本会議 一般質問	13
14	15 午前10時～ 予算決算常任委員会	16 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	17	18 午前10時～ 体育施設等に関する 調査特別委員会 午後2時～ 議会改革・活性化特 別委員会	19 午前10時～ 予算決算常任委員会	20
21	22 午後2時～ 本会議 閉会	23	24	25	26	27
28	29	30				